

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	知来乙
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 5 6 , 5 0 0 千円	当該事業費 530,000千円
年 効 用		3 9 , 3 0 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 4 , 7 6 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 9 9 , 8 5 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 , 6 6 9	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小 豆、馬鈴薯（食）、メロン、すいか
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 7 5 9	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小 豆、馬鈴薯（食）、メロン、すいか
	維持管理費節減効果	4 , 9 8 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う 施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	3 , 8 8 9	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		3 9 , 3 0 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	宇隆
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 7 4 8 , 5 9 4 千円	当該事業費 1,750,000千円
年 効 用		1 6 8 , 5 8 2 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 2 , 1 6 2 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 1 4 9 , 3 6 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 2 , 7 9 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、小豆、小麦、甜菜、馬鈴(食)、かぼちゃ
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 2 , 4 8 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、小豆、小麦、馬鈴薯(食)、
	維持管理費節減効果	5 0 , 6 0 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路（耕作道）、排水路、用水路、揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 2 , 3 5 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路（耕作道）、排水路、用水路
地域の生活環境の保全・向上	地域用水整備効果	3 0 8	関連事業（国営農業用水再編対策事業 勇払東部地区）にて計上されている効果
	水辺環境整備効果	3 6	関連事業（国営農業用水再編対策事業 勇払東部地区）にて計上されている効果
計		1 6 8 , 5 8 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	青森県	地区名	阿弥陀川
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 6 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 2 , 9 5 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 9 3 , 4 7 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 8 6 8	水田の排水効果等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、トマト等
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 1 , 0 8 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、トマト等
	維持管理費節減効果	1 , 6 2 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 6 1 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
計		5 2 , 9 5 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	青森県	地区名	五戸南
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		705,600千円	
年 効 用		49,385千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0580	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	851,466千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.20	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,735	水田の用水改良等による単収の増加 対象作物：水稻
	品質向上効果	2,196	農道改修による作物の荷痛みの防止 対象作物：ながいも、りんご、にんにく
営農経費の節減	維持管理費節減効果	36,278	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：頭首工、用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	698	農道改修による運搬時間の短縮及び労働時間の短縮 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,545	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：頭首工、用水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1,933	ガードレール設置による安全性の向上 対象施設：農道
計		49,385	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山梨県	地区名	八 代
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 6 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 0 , 8 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 5 7 , 1 2 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 2 , 9 7 1	ほ場整備、用排水路整備、ため池整備による転作作物の面積拡大や単収の増 対象作物：桃、ブドウ、キュウリ
	品 質 向 上 効 果	1 , 6 2 2	農道整備により荷傷の軽減効果 対象作物：桃、ブドウ、すもも
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 , 9 7 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、ブドウ
	持 管 理 費 節 減 効 果	9 , 1 0 6	用水路等の改修により維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、溜池、ほ場整備
	営農に係る走行経費節減効果	2 4 , 9 2 4	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 7 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道
計		6 0 , 8 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山梨県	地区名	芦 川
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 1 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 8 , 6 4 7 千円	
廃 用 損 失 額		8 , 8 1 6 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 3 2 , 9 6 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	7 , 8 1 5	用水路整備により転作作物の単収の増 対象作物：ホレンソウ、サインゲン、コンニャクイモ
	品 質 向 上 効 果	1 , 8 3 8	農道整備により荷傷の軽減効果 対象作物：ホレンソウ、サインゲン、コンニャクイモ
営農経費の節減	持 管 理 費 節 減 効 果	7 2 5	用水路等の改修により維持管理費の節 減 対象施設：用排水路、農道、
	営農に係る走行経費 節減効果	2 6 , 0 1 5	農道整備により資材や農産物の輸送速 度向上、車種変換による効果
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	8 9 1	老朽化した施設の更新による従前の農 業生産の維持 対象施設：農道
施設更新による 災害防止	災 害 防 止 効 果	1 , 3 6 3	排水路整備により災害防止 対象施設：農業排水路
地域の生活環境 の保全・向上			
計		3 8 , 6 4 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	天城湯ヶ島
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		106,000千円	
年 効 用		7,581千円	
廃 用 損 失 額		855千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		25年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0665	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	113,145千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
営農経費の節減	持 管 理 費 節 減 効 果	3,939	用水路等の改修により維持管理費の節減 対象施設：取水ゲート擁壁、用水路、ポンプ、貯水槽、農道、
	営農に係る走行経費節減効果	1,111	農道整備により資材や農産物の輸送が徒歩から軽トラック使用による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2,124	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：取水ゲート用水路、ポンプ貯水槽
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	407	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：農道ガードレール
計		7,581	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	下条高原
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,214,774千円	
年 効 用		76,173千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,490,665千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.22	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2,185	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稻、トマト、アスパラガス、キャベツ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	22,778	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、トマト、キャベツ
	維持管理費節減効果	6,937	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	5,432	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	20,571	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路、農道、ため池
地域生活環境の保全・向上	一 般 交 通 等 経 費 節 減 効 果	798	農道の改良による一般交通に係る走行経費の節減
	地 籍 確 定 効 果	274	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
計		58,975	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	西山二田
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 7 5 , 9 7 5 千円	
年 効 用		4 1 , 3 1 4 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 4 3 , 1 4 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 3 6 8	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稻、大豆、えだまめ、キャベツ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 7 , 8 8 7	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：同上
	維持管理費節減効果	1 , 8 6 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 2 6 6	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による災害防止	災 害 防 止 効 果	4 , 7 0 7	ため池の改良による、災害の発生に伴う作物、農用地、農業用施設、一般資産及び公共資産の被害防止
地域生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	2 2 4	国土調査がなされていないため、本事業の確定測量により地籍が確定する
計		4 1 , 3 1 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	石川県	地区名	河合谷
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 2 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 5 , 8 2 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 5 3 , 6 1 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 , 4 9 1	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、 キャベツ、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 0 , 2 4 2	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	1 2 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う 施設の維持管理費の節減 対象施設：用・排水施設、農道
施設更新による 従前の農薬生産 の維持	更新効果	1 2 , 6 7 2	老朽化した施設の更新による従前の 農薬生産の維持 対象施設：用・排水施設、農道
地域生活環境の 保全・向上	地籍確定効果	2 9 0	換地による、地籍の明確化 対象工種：ほ場整備
計		4 5 , 8 2 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	勝山鹿谷
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		771,152千円	
年 効 用		72,788千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0601	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,211,115千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.57	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4,093	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆 なす、大根等
	品質向上効果	1,936	農道を舗装することによって、荷傷み防止・防塵効果による単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	17,824	用排水整備等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	12,382	用排水の整備、農道舗装による維持管理費の節減
	営農に係る走行経費節減効果	3,087	道路改良に伴い車種変更、走行速度の変化によって、走行経費と人件費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	33,466	老朽化した施設の更新による農業生産の維持 対象施設：用排水
計		72,788	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	西美濃
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 3 5 , 2 5 0 千円	
年 効 用		7 1 , 0 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		2 4 , 8 4 0 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 2	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 3 2 , 2 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 9 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 4 , 4 3 3	水田の排水改良等による転作作物の面積 拡大や単収の増加 対象作物：水稻、里芋、大根、きゅう り、茄子
	品 質 向 上 効 果	1 6 5	農道の舗装整備による農産物の荷痛み防止 対象作物：大根、茄子、きゅうり
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 , 2 4 5	用排水施設等の改修、統廃合による労働 時間の短縮に伴う経費の節減
	維持管理費節減効果	2 9 , 7 6 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設：用水路、取水工、排水路、道 路
	営農に係る走行経費 節減効果	3 8 2	農道の整備による輸送時間短縮に伴う経 費の節減
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 4 , 0 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業 生産の維持 対象施設：用水路、取水工、排水路、道 路
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通に係る走行 経費節減効果	1 8	農道の整備による一般交通の走行時間短 縮に伴う経費の節減 対象施設：道路
計		7 1 , 0 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	加茂北部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,615,950千円	
年 効 用		102,193千円	
廃 用 損 失 額		52,417千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0506	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,053,314千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.27	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7,764	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、馬鈴薯等
	品質向上効果	4,564	農道の舗装整備による農産物の荷痛み防止 対象作物：トマト、茄子
営農経費の節減	営農経費節減効果	2,059	ほ場の区画拡大による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、トマト
	維持管理費節減効果	38,312	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：頭首工、用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	16,363	農道の整備による輸送時間の短縮に伴う経費の節減 対象作物：水稻、トマト、大豆等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	32,119	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通に係る走行経費節減効果		農道の整備による一般交通の走行時間短縮に伴う経費の節減 対象施設：道路
その他	災害防止効果	1,012	老朽化した施設の整備による土砂流出災害の防止 対象施設：排水路
計		102,193	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	奥びわの郷
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 6 7 , 8 0 0 千円	
年 効 用		4 6 , 3 4 4 千円	
廃 用 損 失 額		2 1 , 7 5 9 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 4	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 5 7 , 2 9 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 2 , 7 5 1	用排水施設等の改修に伴う施設の 維持管理費の増減 対象施設：用水路、排水路、道 路、ため池
	営農に係る走行経費 節減効果	2 , 9 3 3	道路拡幅改良による農業輸送、通 作交通経費の節減
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	1 9 , 3 4 5	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による 災害防止	災害防止効果	4 , 7 6 0	ため池改修による農作物、農地お よび家屋等の被害防止
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	6 , 5 5 5	用水路の一部を魚類等の生息環境 に配慮した石積み水路とし、また 排水路の一部に小動物用の脱出ス ロープを設置にすることによる水 辺環境の保全、生態系の保全
計		4 6 , 3 4 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	北備2期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		558,600 千円	
年 効 用		31,392 千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		43 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0504	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	622,857 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.12	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8,066 千円	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ハクサイ、菊、キュウリ、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8,161 千円	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、ハクサイ、菊、キュウリ、大豆
	維持管理費節減効果	757 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	2,507 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：大根、トマト、ブドウ
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	11,649 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路、ため池
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等走行経費節減効果等	251 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減対象施設：道路
計		31,392 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	湯野
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		752,325 千円	
年 効 用		60,456 千円	
廃 用 損 失 額		50,526 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		25 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0665	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	858,589 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	11,320 千円	区画整理等による新規転作作物の 単収増加 対象作物：水稻、トマト、ハクサイ
営農経費の節減	営農経費節減効果	580 千円	道路の改良による輸送経費・走行 経費の節減 対象施設：道路
	維持管理費節減効果	16,148 千円	水路等の改修に伴う施設維持管理 費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水 路、道路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	32,408 千円	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
計		60,456 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	広島県	地区名	神石高原
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		725,550 千円	
年 効 用		48,986 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		39 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	940,230 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.29	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,724 千円	水路整備による単収増。 対象作物：水稻、トマト 大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	28,531 千円	道路の改良による輸送経費・走行 経費の節減 対象施設：道路
	維持管理費節減効果	31 千円	道路、水路等の改修に伴う施設維 持管理費の節減 対象施設：水路、道路、ため池
施設更新による 従前の農薬生産 の維持	更新効果	16,446 千円	老朽化した施設の更新による 従前の農薬生産の維持 対象施設：道路、水路、 ため池
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通に係る走行 経費節減効果等	2,049 千円	道路改良により営農に係る走行経 費以外に一般交通に係る走行経費 節減 対象施設：道路
計		48,986 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	徳島	地区名	池田南部
-----	-------------	-------	----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		229,950 千円	
年 効 用		12,630 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		50 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0492	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	264,926 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.15	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,680 千円	水路整備による単収増。 対象作物：水稻、かんしょ、馬鈴薯、大根、柿
営農経費の節減	維持管理費節減効果	57 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	9,401 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：馬鈴薯、キウイクリ、茶、ユズ、タマネギ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	492 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計		12,630 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	徳島	地区名	牟岐
-----	-------------	-------	----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		718,200 千円	
年 効 用		53,892 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,010,115 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.41	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	25,563 千円	区画整理等による新規転作作物の単収増加 水路整備による単収増。 対象作物：水稲、ネギ、オクラ、 ハウレンソウ、ブロッコリ -
営農経費の節減	維持管理費節減効果	530 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	20,449 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稲、ネギ、 ハウレンソウ、ブロッコリ -
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,350 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路
計		53,892 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	香川県	地区名	詫間・仁尾
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,619,650 千円	
年 効 用		131,787 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		41 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0513	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,568,947 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.58	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	35,517 千円	区画整理等による新規転作作物の単収増加 用水路、道路整備による作付面積の増 対象作物：水稻、キャベツ、大根 キュウリ、たまねぎ、イチゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	12,596 千円	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経緯費の削減 対象作物：水稻、キャベツ、大根 キュウリ、たまねぎ、イチゴ
	維持管理費節減効果	2,469 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	20,385 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：ミカン、キャベツ レタス、キュウリ、たまねぎ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	65,758 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：ため池
計		131,787 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	東宇和東部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,013,900 千円	
年 効 用		146,916 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		50 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0473	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,105,627 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.54	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,694 千円	区画整理等による新規転作作物の 単収増加 道路整備による作付面積の増 対象作物：水稻、キュウリ、イタ リアン
営農経費の節減	営農経費節減効果	23,527 千円	ほ場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経緯費の削減 対象作物：水稻、キュウリ、イタ リアン
	維持管理費節減効果	15,081 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維 持管理費の節減 対象施設：道路、水路、ため池
	営農に係る走行経費 節減効果	24,910 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮 による労働時間や機械経緯費の節 減 対象輸送作物：水稻、ソルゴー、 イタリアン
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	72,291 千円	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路、ため池
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通に係る走行 経費節減効果等	2,413 千円	道路改良により営農に係る走行経 費以外に一般交通に係る走行経費 節減 対象施設：道路
計		146,916 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	立花
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 4 7 , 4 0 0 千円	
年 効 用		6 9 , 0 5 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 6 年	当該事業の耐用年数
還 元 率		0 . 0 6 4 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 6 8 , 9 1 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 , 9 3 2	用排水改良に伴う転作作物の作付面積増や、畑かんによる単収の増加 対象作物：水稻、小麦、いちご、みかん
営農経費の節減及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	6 , 5 5 9	区画整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、みかん
	維持管理費節減効果	3 , 4 3 9	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	3 9 , 1 7 1	現況と計画における車両構成比の変更による走行経費節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 0 , 9 5 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		6 9 , 0 5 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	富士南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 4 4 , 1 3 5 千円	
年 効 用		4 9 , 4 8 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 4	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 6 2 , 0 3 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 2 2 9	用排水改良による、作物の面積拡大や、反収増加 対象作物：水稻、ホレソウ、なす
	品 質 向 上 効 果	5 , 4 3 7	農道の舗装により、生産物輸送の際の損傷の軽減による品質の向上 対象作物：なす、レタス、はくさい
営農経費の節減	営農経費削減効果	3 , 3 7 8	ほ場整備による営農時間の短縮や機械経費の節減、用排水路の改良による水管理作業の縮減 対象作物：水稻、ホレソウ、なす
	維持管理費節減効果	3 9 8	道路や用排水施設の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道、用排水路
	営農に係る走行経費節減効果	4 , 1 6 5	農道改良による農作物の生産・流通に関する輸送経費の節減 対象作物：水稻、なす、レタス
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 9 , 8 7 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農道、用排水路
計		4 9 , 4 8 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	相知
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 6 6 , 2 5 0 千円	
年 効 用		5 1 , 6 7 2 千円	
廃 用 損 失 額		6 , 4 7 5 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 0 6 , 7 0 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 4 , 4 5 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：いちご、たまねぎ、大豆
	品 質 向 上 効 果	5 , 7 7 7	農道の舗装により、生産物輸送の際の損傷の軽減による品質の向上 対象作物：イチゴ、タマネギ、キュウリ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 7 , 3 0 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、イチゴ、タマネギ
	維持管理費節減効果	3 4 9	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	9 2 7	農道の改良に伴う農作物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象作物：水稻、イチゴ、タマネギ
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 8 6 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		5 1 , 6 7 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	菊池東部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,416,450千円	
年 効 用		77,772千円	
廃 用 損 失 額		10,255千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		44 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,535,908千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	19,085	用排水路改良, ほ場整備, 暗渠排水整備に伴う作付面積の拡大や単収の増加 対象作物: 水稻、花卉、かぼちゃ、ごぼう、ねぎ等
	品質向上効果	6,157	有機堆肥による付加価値の高い農産物の生産(有機米としての付加価値増)対象作物: 水稻
営農経費の節減	営農経費節減効果	23,542	ほ場整備, 暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物: 水稻
	維持管理費節減効果	7,577	用排水施設の改修, 道路改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設: 農道, 用・排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	19,719	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設: 用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地創設効果	341	ほ場整備により公共用地等(堆肥舎)の非農用地を円滑に創設
	地積確定効果	208	ほ場整備における確定測量により地積の確定 対象施設: ほ場、道水路敷
	文化財発見効果	1,143	ほ場整備により埋蔵文化財が具現化される
計		77,772	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	竹田西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 , 9 8 5 , 2 6 6 千円	
年 効 用		5 0 1 , 0 0 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	
総 合 耐 用 年 数		4 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 0 , 2 2 4 , 5 9 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 4 0 , 9 5 6	畑かん施設の新設による作付面積や単収の増加 対象作物：トルコギキョウ、いちご、トマト、キャベツ、だいこん
	品 質 向 上 効 果	7 , 6 7 5	農道の拡幅、舗装に伴う作物運搬時の荷痛み防止による品質向上 対象作物：いちご、トマト、キャベツ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 7 0 , 1 9 9	用水路の新設に伴う区画整理、畑地かんがいによる労働時間の短縮や機械経費の節減 農道の整備による防除用水の運搬経費の節減 対象作物：水稻、キャベツ、だいこん、飼料作物
	維持管理費節減効果	2 6 , 5 6 3	用水路の新設農道の改修に伴う維持管理費の増加 対象施設：用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	7 , 2 9 1	農道の拡幅、舗装に伴い輸送距離短縮による走行経費の節減 対象作物：水稻、とまと、キャベツ、飼料作物
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	1 , 4 4 7	用排水路の整備に伴い、地籍が明確になる 対象施設：用水路
合 計		5 0 1 , 0 0 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	大野西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 7 3 , 6 8 0 千円	
年 効 用		4 3 , 7 8 7 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 6 9 , 5 4 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 5 0	水田の排水改良等による転作作物の面積 拡大や単収の増加 対象作物：水稻、麦、なす、里芋、大根
	品 質 向 上 効 果	1 , 1 9 1	現況道路の改修に伴う農作物の荷痛み 防止による品質向上 対象作物：きゅうり、なす、玉ねぎ、大 根、キャベツ、白菜、いちご、桃
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 , 7 0 5	ほ場の区画整理による労働時間の短縮や 機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、なす、里芋、大根
	維持管理費節減効果	2 2	施設の改良、新設による補修等の維持管 理費の増加 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費 節減効果	3 4 , 0 9 3	農産物の生産並びに流通に係る輸送経費 の節減 対象作物：水稻、麦、なす、大根、キャ ベツ、白菜、里芋等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	4 , 2 7 0	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：道路
計		4 3 , 7 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	両院 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,117,850千円	
年 効 用		107,178千円	
廃 用 損 失 額		－ 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0495	工種毎に算定した総便益を年効用を除した数値
総 便 益	= ÷ -	2,165,212千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 1,801	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：とまと、きゅうり、大豆
	品質向上効果 9,535	農道の改良に伴い走行時に生じる農作物の荷痛み防止による品質向上 対象作物：ぶどう、とまと、きゅうり、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果 9,159	ほ場の区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、きゅうり、とまと、大根等
	営農に係る走行経費節減効果 10,378	農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象作物：水稲、とまと、きゅうり、白菜、ぶどう等
	維持管理費節減効果 6,029	施設の改良、新設による補修等の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果 69,292	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果 897	道路改良する際に社会的要請に基づき安全施設設置による安全性の確保 対象施設：防護柵
	地積確定効果効果 87	ほ場整備における確定測量により地積の確定 対象施設：ほ場、道水路敷
計	107,178	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	ゆすいん
-----	-------------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 1 3 , 7 0 0 千円	
年 効 用		2 7 , 2 3 5 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 1 0 , 9 7 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 , 0 9 9	ほ場整備，暗渠排水整備に伴う作付面積の拡大や単収増加 対象作物：水稻，ネギ，飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 4 5 0	ほ場整備，暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻，飼料作物，大豆
	維持管理費節減効果	6 9 8	用排水施設の改修，道路改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道，用・排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 8 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路，排水路，農道
計		2 7 , 2 3 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	霜出
-----	-------------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 4 2 , 0 7 0 千円	
年 効 用		2 8 , 3 9 6 千円	
廃 用 損 失 額		1 8 , 8 4 5 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 4 5 , 1 4 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 , 6 0 8	排水路の整備に伴う排水不良に起因する被害防止による単収の増加 対象作物：水稻・かんしょ・茶
	品質向上効果	3 , 4 1 2	農道の舗装に伴う荷痛みの防止や防塵効果による品質向上 対象作物：かんしょ、大根、茶
営農経費の節減	維持管理節減効果	8 1 1	排水路・農道を整備することにより維持管理費の節減 対象施設：排水路・農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 7 , 6 4 3	農道の拡幅・舗装による輸送車種及び走行速度の変更による走行経費の節減 対象作物：水稻・かんしょ・茶・大根
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 5 7 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路・農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	3 4 5	農道の拡幅・舗装による走行速度の上昇することにより経費の節減効果 対象施設：農道
計		2 8 , 3 9 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	薩摩
-----	-------------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 4 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 9 , 1 9 1 千円	
廃 用 損 失 額		3 3 , 6 1 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 0 1 , 6 7 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 , 4 4 4	用排水路改良, ほ場整備, 暗渠排水整備に伴う作付面積の拡大や単収の増加 対象作物: 水稻, 葉たばこ, 飼料作物
	品質向上効果	1 7 1	農道の舗装に伴う荷痛みの防止による品質向上 対象作物: 梅
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 , 4 0 9	ほ場整備, 暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物: 水稻, 飼料作物
	維持管理費節減効果	1 , 7 4 5	用排水施設の改修, 道路改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設: 農道, 用・排水路
	営農に係る走行経費節減効果	1 2 , 9 2 2	道路の拡幅, 舗装に伴い走行速度の上昇及び車種変更による 対象作物: 水稻, 飼料作物
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 9 1 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設: 用水路, 排水路, 農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	7 6	道路の拡幅, 舗装に伴い走行速度の上昇及び車種変更による 対象施設: 農道
	水辺環境整備効果	3 , 5 0 5	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設: 排水路
計		3 9 , 1 9 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	財部南部
-----	-------------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 4 2 , 7 0 0 千円	
年 効 用		3 5 , 8 4 3 千円	
廃 用 損 失 額		8 , 5 8 7 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 5 6 , 4 0 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千 円)	効果の内容
農作物の生産量 増加	作物生産効果	1 2 , 9 8 1	用排水改良，農道整備，暗渠排水，農地防 災整備に伴う作物単収の増加 対象作物：水稻，さといも，飼料作物
	品質向上効果	2 2 0	農道の舗装に伴う荷痛みの防止による品質 向上 対象作物：かんしょ、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 , 0 0 2	暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械 経費の節減 対象作物：水稻，飼料作物，さといも
	維持管理費節減効果	7 9	用排水施設の改修に伴う補修等の維持管理費の 節減，道路改良に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：農道，用・排水路
	営農に係る走行経費 節減効果	1 0 , 9 9 2	道路の拡幅，舗装に伴い走行速度の上昇及 び車種変更による 対象作物：水稻，かんしょ，飼料作物，大根
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	2 , 7 9 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生 産の維持 対象施設：用水路，排水路，農道
	災害防止効果	5 , 9 2 9	施設の更新に伴う洪水による被害の防止又 は軽減 対象施設：排水路，農地
計		3 5 , 8 4 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	成瀬東部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 9 5 , 3 7 0 千円	
年 効 用		2 6 , 0 4 0 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 3 6 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 4 6 , 6 0 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 , 4 5 0	水田の用水改良等による単収の増加 対象作物：水稻
	品質向上効果	3 , 7 8 3	農道改修による作物の荷痛みの防止 対象作物：とまと、ばれいしょ、なす、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5 , 1 5 6	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	3 , 1 1 3	農道改修による運搬時間の短縮及び労働時間の短縮 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5 , 5 3 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
計		2 6 , 0 4 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	六 合
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 3 4 , 8 0 0 千円	
年 効 用		1 0 , 4 4 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 9 1 , 2 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 3 2 1	用水路整備により転作作物の面積拡大や単収の増 対象作物：トウモロコシ、花インゲン、大根、花卉
	品 質 向 上 効 果	1 , 5 3 5	農道整備により荷傷の軽減、防塵効果がある 対象作物：トウモロコシ、大根、キャベツ、花卉
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 , 5 9 4	用水路整備により営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：トウモロコシ、大根、キャベツ、花卉
	維持管理費節減効果	7 0 9	用水路等の改修により維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 0 7	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 1 7 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		1 0 , 4 4 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	埼玉県	地区名	木のむらときがわ
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 6 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 1 , 3 2 1 千円	
廃 用 損 失 額		4 2 6 千円	
総 合 耐 用 年 数		2 6 年	
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 7 9	
総 便 益	= ÷ -	1 7 7 , 0 4 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 2 2 5	用水路整備により転作作物の面積拡大や単収の増 対象作物：トマト なす
	品 質 向 上 効 果	1 , 1 1 0	農道整備により荷傷の軽減効果 対象作物：トマト、なす、ネギ、キュリ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 , 5 7 9	用水路等の改修により維持管理費の節減対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 , 8 1 0	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 5 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等走行経費節減効果	2 , 4 4 3	農道整備により一般交通の速度向上と距離の節減による効果
	安 全 性 向 上 効 果	2 4 7	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：学校近辺へのガードレール
	水 辺 環 境 整 備 効 果	4 0 3	用水の石積み護岸による地域生態系等の保全
計		1 1 , 3 2 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	小浜
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 5 8 , 7 5 0 千円	
年 効 用		1 6 , 4 4 8 千円	
廃 用 損 失 額		1 4 , 2 2 0 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 7 8 , 9 7 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 品質向上効果	1 , 7 7 4	用水路の漏水を解消することによる徹底した水管理作業や水田畑作業の作付け面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 , 1 3 7	圃場条件の改善に伴う作付体系の変化や機械利用効果が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆
	維持管理費節減効果	1 , 7 7 9	施設の改良による施設の維持管理費節減
	営農に係る走行経費節減効果	1 , 7 1 7	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 , 8 7 5	施設の改良及び統廃合による旧施設の代替えによる従前の農業生産の維持 対象施設：農道、用排水路
地域生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	1 , 1 6 6	農道の改良による一般交通に係る走行経費の節減
計		1 6 , 4 4 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	羽生味見
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 8 5 , 8 1 0 千円	
年 効 用		3 8 , 8 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 4 6 8 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 1	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 6 5 , 4 8 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 , 0 3 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、そば、里芋 なす、大根等
	品 質 向 上 効 果	2 0 5	農道を舗装することによって、荷傷み防止・防塵効果による単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 5 , 4 6 7	用排水整備等による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	1 0 , 9 2 1	用排水、農道、圃場整備による維持管理費の節減
	営農に係る走行経費節減効果	2 1	道路改良に伴い車種変更、走行速度の変化によって、走行経費と人件費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9 , 1 6 0	老朽化した施設の更新による農業生産の維持 対象施設：用排水、圃場整備
計		3 8 , 8 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	八鹿
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 8 1 , 9 8 1 千円	
年 効 用		4 6 , 6 2 5 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 , 5 6 0 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 4 6 , 2 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 8	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,457	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 や単収の増加 対象作物：水稻、小豆、大根、ばれいしょ、 キャベツ
	品質向上効果	761	農道舗装による荷痛み防止等立地条件の好転 による品質の向上 対象作物：大根、ばれいしょ、キャベツ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5,346	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、ため池
	営農に係る走行 経費節減効果	10,079	農作物運搬時の走行経費の節減
施設更新による従前の 農業生産の維持	更新効果	3,697	老朽化した施設の更新による従前の農業生産 の維持 対象施設：用排水路
施設更新による災害 防止	災害防止効果	9,234	施設を更新することにより未然に災害を防止 する
地域の生活環境の保 全・向上	一般交通等経費 節減効果	8,769	一般交通車両の走行経費の節減
	水辺環境整備効果	282	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した 石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		46,625	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	朝来
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 3 1 , 7 8 3 千円	
年 効 用		3 6 , 8 4 0 千円	
廃 用 損 失 額		1 6 , 2 0 7 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 7 7 , 9 9 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,729	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 や単収の増加 対象作物：水稲、大根、ねぎ、キャベツ
	品質向上効果	509	農道舗装による荷痛み防止等立地条件の好転 による品質の向上 対象作物：大根、ねぎ、キャベツ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3,278	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、ため池
	営農に係る走行 経費節減効果	7,223	農作物運搬時の走行経費の節減
施設更新による従前 の農業生産の維持	更新効果	5,202	老朽化した施設の更新による従前の農業生産 の維持 対象施設：用排水路
施設更新による災害 防止	災害防止効果	4,342	施設を更新することにより未然に災害を防止 する
地域の生活環境の保 全・向上	一般交通等経費 節減効果	9,390	一般交通車両の走行経費の節減
	水辺環境整備効果	1,167	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した 石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		36,840	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	奈良県	地区名	御杖
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		69,139千円	
年 効 用		6,131千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		25年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0660	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	92,914千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.34	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	134	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、ハウレンソウ
	品質向上効果	301	農道の整備(舗装)による荷痛み防止に伴う商品化率の向上 対象作物：ハウレンソウ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4,280	用水施設等の改修及び農道の整備(舗装)に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	607	農業輸送及び通作交通に係る走行資材経費、走行中人件費の節減 対象作物：水稻、ハウレンソウ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	809	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		6,131	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	日積中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		149,040 千円	
年 効 用		10,454 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		45 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0564	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	185,229 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.24	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	184 千円	水路・道路整備による単収増。 対象作物：水稻、大豆、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,740 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	2,921 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稻、キャベツ、大豆
施設更新による従前の農薬生産の維持	更新効果	3,977 千円	老朽化した施設の更新による従前の農薬生産の維持 対象施設：水路、道路、ため池
地域の生活環境の保全・向上	一般交通に係る走行経費節減効果等	632 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減 対象施設：道路
計		10,454 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	むつみ
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		259,475 千円	
年 効 用		29,952 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		21 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0961	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	311,636 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.20	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	10,034 千円	水路・道路整備による単収増。 対象作物：水稻、大豆、ナス、トマト
営農経費の節減	維持管理費節減効果	16,947 千円	道路、水路の改良に伴う施設の 維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	2,971 千円	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
計		29,952 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	福栄
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		506,115 千円	
年 効 用		39,901 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		38 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0522	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	764,129 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.51	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,509 千円	区画整理等による新規転作作物の単収増加 道路・水路整備による作付面積の増 対象作物：水稻、キャベツ、ハクサイ
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,175 千円	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経緯費の削減 対象作物：水稻、キャベツ、ハクサイ
	維持管理費節減効果	866 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	15,828 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稻、キャベツ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,125 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通に係る走行経費節減効果等	398 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減 対象施設：道路
計		39,901 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	高知県	地区名	夜須
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		665,505 千円	
年 効 用		109,035 千円	
廃 用 損 失 額		千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		42 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0512	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,129,590 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	3.20	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	93,699 千円	区画整理等による新規転作作物の 単収増加 水路整備による作付面積の増 対象作物：水稻、生姜、ナス、か んしょ
営農経費の節減	営農経費節減効果	16,777 千円	ほ場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経緯費の削減 対象作物：水稻、生姜、ナス、か んしょ
	維持管理費節減効果	1,441 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維 持管理費の節減 対象施設：道路、水路
計		109,035 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	かかし村
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 1 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 1 , 3 9 7 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 5 8 9 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 4 8 , 0 3 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 6 3 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：きゅうり、さといも、ごぼう
	品 質 向 上 効 果	6 3 8	農道の舗装による収穫作物の荷傷み防止による品質向上 対象作物：きゅうり、かんしょ、さといも
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 , 4 9 0	用排水路の改修による施設の維持管理費の節減 農道の舗装や土留め壁新設に伴う維持管理費の増加 対象施設：用水路、排水路、農道、土留め壁
	営農に係る走行経費節減効果	8 , 7 1 8	農道の舗装、改修に伴う走行速度改善等による走行経費の節減 対象作物：きゅうり、かんしょ、里芋、ごぼう、飼料作物
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 7 4 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
	災 害 防 止 効 果	3 , 1 7 4	土留め壁を設けることによる農地、水路等の保全 対象施設：土留め壁
計		2 1 , 3 9 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	西 表 東 部
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 3 8 , 4 4 5 千円	
年 効 用		2 0 , 6 2 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		6 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 4 6	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 6 2 , 3 3 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 3 , 1 2 3	農用地の改良・保全に伴う土層改良等により作物の単収が増加 対象作物：さとうきび
	品 質 向 上 効 果	1 , 1 7 9	道路改良に伴う荷傷みの軽減や防塵 により生産物の品質が向上 対象作物：パインアップル
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6 6 6	道路改良に伴う維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	3 4 6	道路改良に伴う走行速度の上昇により農業輸送及び通作輸送の経費が節減 対象施設：道路
施設更新による災害防止	災 害 防 止 効 果	5 , 3 0 6	農用地の改良・保全に伴う勾配修正等により農用地・耕土の流出や災害を防止 対象施設：農業用施設等
計		2 0 , 6 2 0	